



# 124年の歴史に幕 さよなら、蚕飼小学校。

蚕飼小学校が平成26年4月から宗道小学校と統合します。  
蚕飼地区のコミュニティの拠点であり、124年の歴史を重ねてきた蚕飼小学校の閉校を、地域の方や保護者、先生、児童の思いを交えて紹介します。



50型モニターを使つての学習発表会



平成25年度運動会の準備体操と昭和46年建築の現校舎

**輝かしい歴史と伝統も、急速な少子化の波に**

蚕飼小学校は、明治22年、蚕飼尋常小学校として華蔵院を仮校舎に開校。以来、昭和・平成の市町村合併を経て、平成18年1月1日からは下妻市立蚕飼小学校として歩み、124年という永い歴史の中で2,800人を超える卒業生を輩出してきました。

この間、昭和52年には「学校給食指導優良校」として文部大臣賞受賞、昭和54年には「学校安全教育優良校」として茨城県教育長賞受賞、平成元年には「文部省指定道徳教育推進校」として茨城県教育委員会より表彰されるなど、輝かしい歴史と伝統を、保護者や地域とともに築いてきました。

しかし一方で、急速な少子化の波にのまれ、児童数は減少の一途をたどることになりました。



木造の旧校舎（明治44年建築）



体育の授業（昭和30年代）



音楽会（昭和30年代）



昭和20年代の航空写真（写真上は蚕飼中学校、下が蚕飼小学校）

ました。昭和20年頃には280人を超える児童が在籍していたものの、平成4年度には100人を切り、平成12年度に初めて1クラスが複式学級に。現在は児童38名で、「3・4年生」と「5・6年生」の2クラスが複式学級となっています。

統合にあたっては、保護者、自治区長、学校、市議会、行政の各代表12名で構成された「蚕飼小学校・宗道小学校統合準備会」で、平成24年7月から平成25年6月までに8回の会議を開催し、検討・準備を進めてきました。

蚕飼小学校の閉校記念式典は、3月22日（土）午前9時50分から同校体育館で行われます。

Interview



蚕飼地区・代表区長 鈴木 徹さん

2年前の地域住民説明会で蚕飼小学校の閉校の話聞いたときには反対もし

残された施設を地域のために有効利用を

たが、人口減少や少子化の時代の流れで、大勢の中で切磋琢磨するなどの良い環境が子どもたちのためになるならやむを得ないという思いになりました。

残された施設は、若い世代から高齢者まで多くの意見を聞き、地域のために有効利用されることを願っています。

これから地域の一員として子どもたちを見守りたい

私も、子どもも蚕飼小学校を卒業し、蚕飼地区のシンボルとなる蚕飼小学校がなくなることは感慨深いものがあります。

新年度から宗道小学校へ通う子どもたちや保護者には不安と期待があると思いますが、統合が良い方向に動いてくれることを切に願います。これからも地



蚕飼小学校PTA会長 塚越 努さん

Interview



3階特別棟壁画

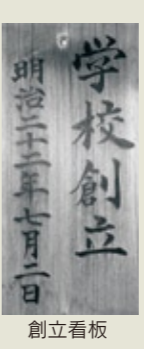
- 26年 3月22日 下妻市立蚕飼小学校閉校式・感謝の集い 3月31日 下妻市立蚕飼小学校閉校
- 18年 市村合併により下妻市立蚕飼小学校となる
- 10年 教育用パソコン設備設置
- 6年 校内テレビ放送設備設置



航空写真撮影10月13日

- 平成元年 校歌碑完成（卒業記念事業） 創立100周年記念日（航空写真撮影10月13日）
- 52年 屋内体育館竣工
- 63年 特別教室3階建校舎増築竣工
- 47年 プール竣工

- 昭和44年 現校舎に移る（木造校舎新築）
- 大正9年 蚕飼尋常高等小学校となる
- 昭和16年 蚕飼国民学校となる
- 昭和22年 蚕飼村立蚕飼小学校となる
- 昭和30年 町村合併により千代川村立蚕飼小学校となる
- 昭和46年 鉄筋2階建新校舎竣工・音楽室増改築竣工



創立看板

- 明治22年 蚕飼尋常小学校となり、華蔵院をもつて仮校舎とする
- 明治6年 豊田郡鯉村に呑舟学校あり、同村華蔵院をもつてこれにあてる

蚕飼小学校 沿革概要